

ポスター番号

P-12-61

# 最先端の自然言語処理技術を活用した高度自然言語処理プラットフォームの研究開発

アビームコンサルティング株式会社・学校法人産業医科大学・国立大学法人東北大学 東北大学病院・国立研究開発法人防災科学技術研究所

## 研究概要

緊急事態（大規模災害等）発生時や平時等における国民の安全・安心の確保に役立てることを目的として、SNSや自治体・関係機関等から発信される様々な自然言語情報を収集し、AIを用いた自然言語処理技術※により解析・整理した結果を利用者や防災システム等の既設システムに提供する「高度自然言語処理プラットフォーム（Emergrid）」の研究開発  
 ※国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した自然言語処理エンジン「DISAANA<sup>®</sup>/D-SUMM<sup>®</sup>」の技術を応用

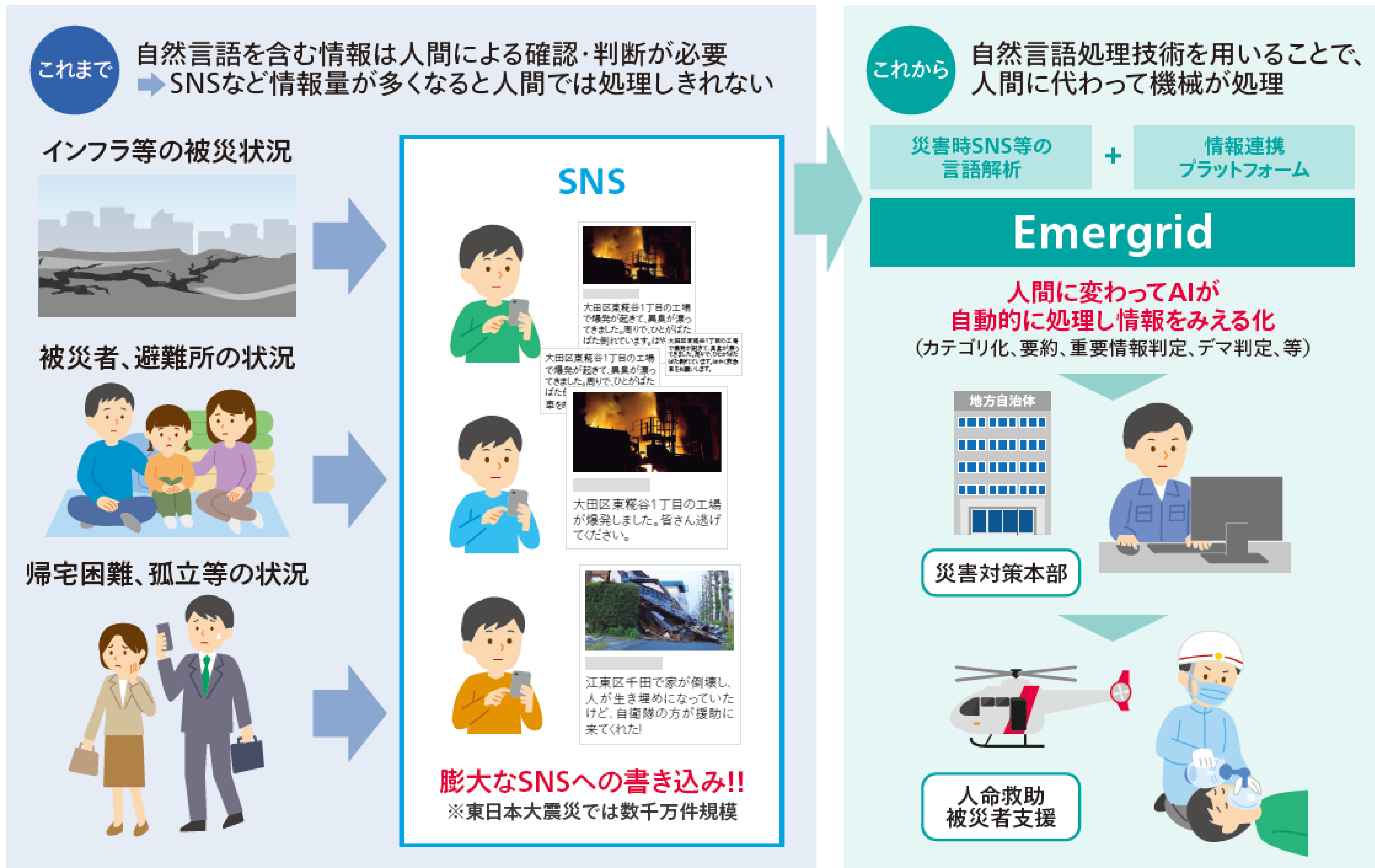
## 研究成果

- ✓ 3年間にわたり、高度自然言語処理プラットフォームの試作、改良を繰り返し、社会実装に向けた構築が完了
- ✓ 15自治体・団体、延べ22回にわたる実証実験を並行して試行し、利用者ニーズの抽出やプラットフォームへの反映等も実施
- ✓ 令和2年7月より自治体を中心にクラウドサービスとして提供を開始

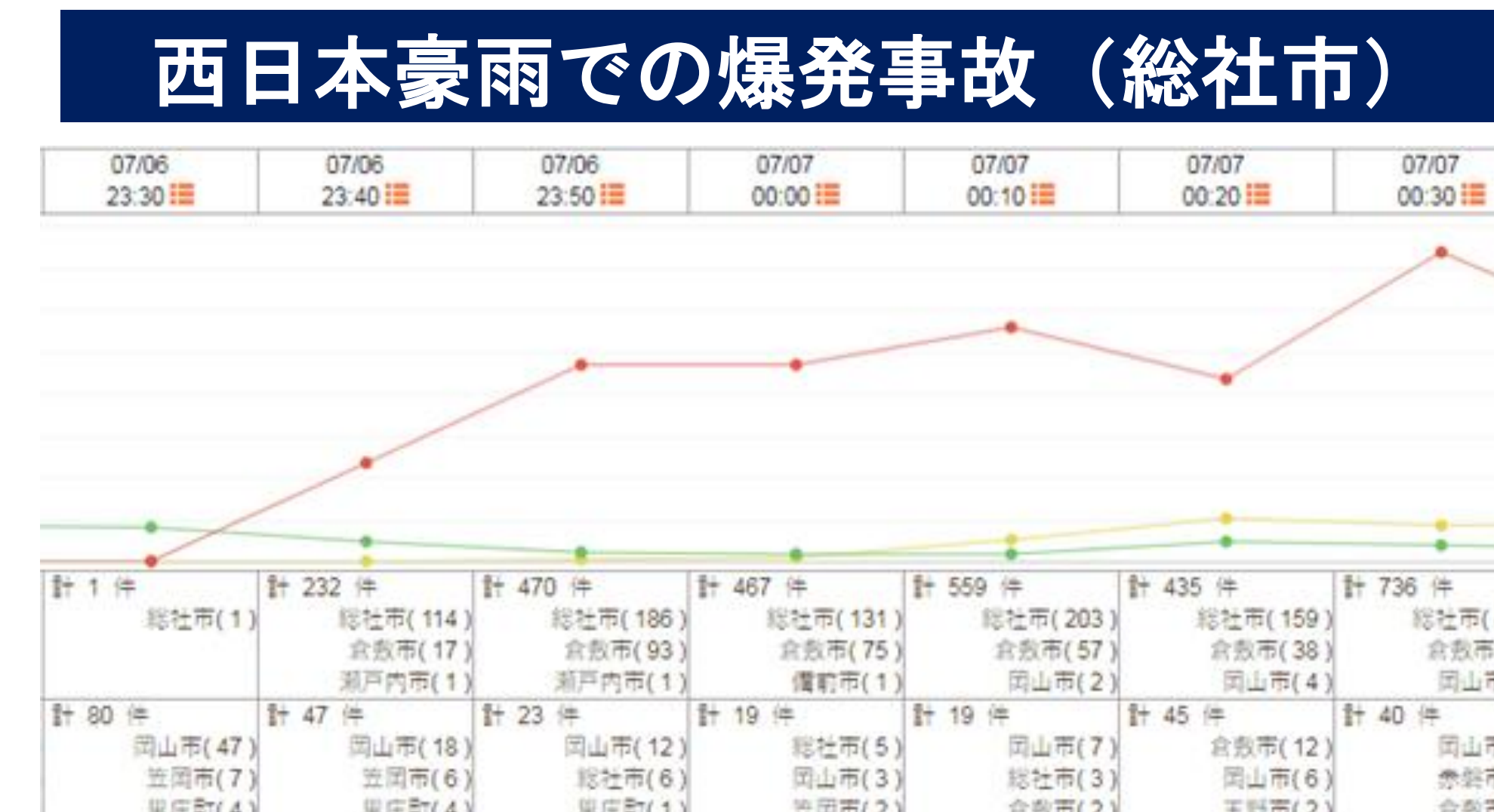
## 利活用イメージ

## 利用事例

### 膨大なSNS情報をAI＋自然言語処理技術で解析し、自治体等に提供



### 実災害発生時のSNS解析結果を画面等に表示した実例



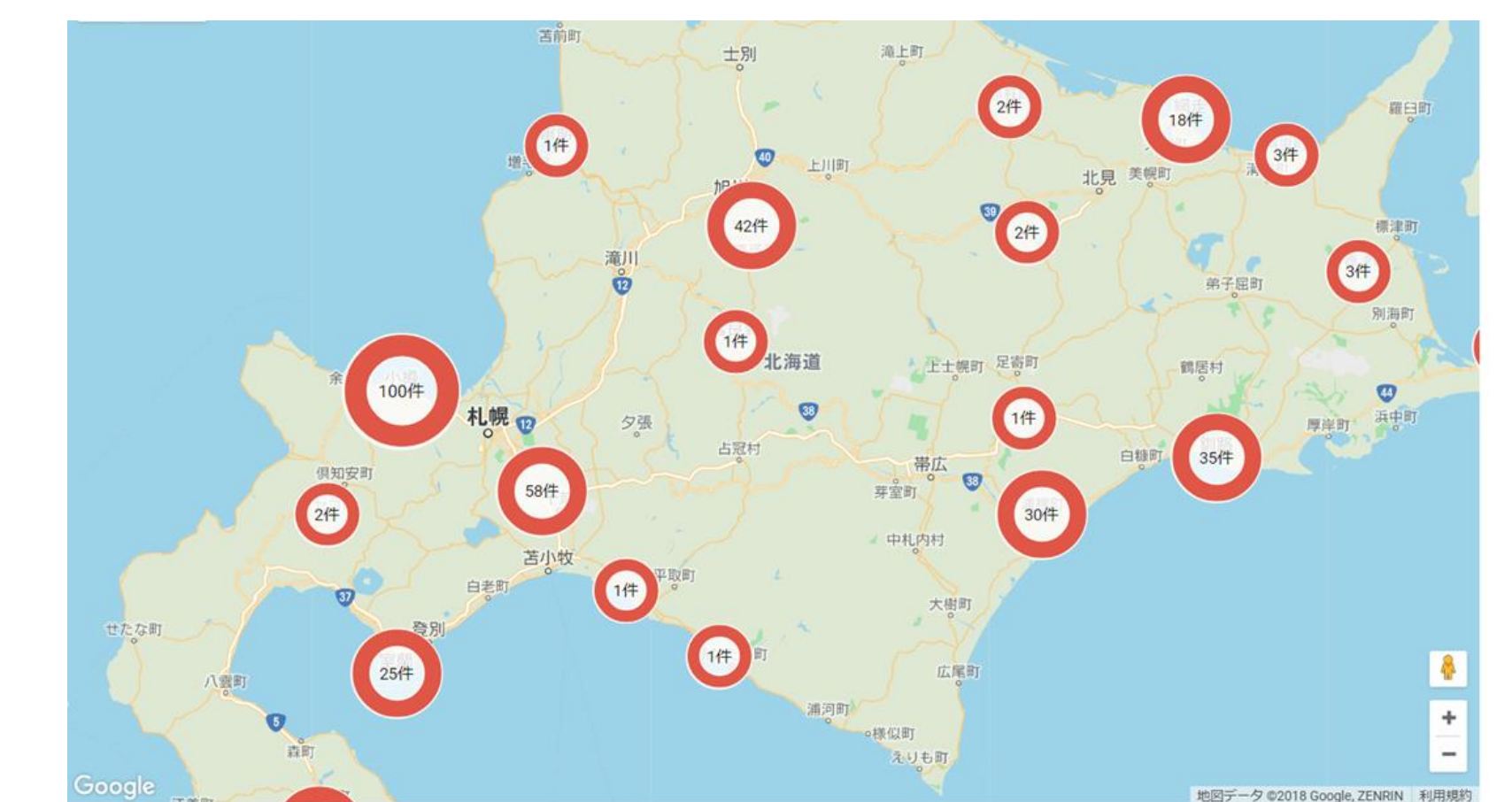
マスコミ発表よりも1.5時間早く爆発事故を把握

#### 令和元年房総半島台風（台風15号）



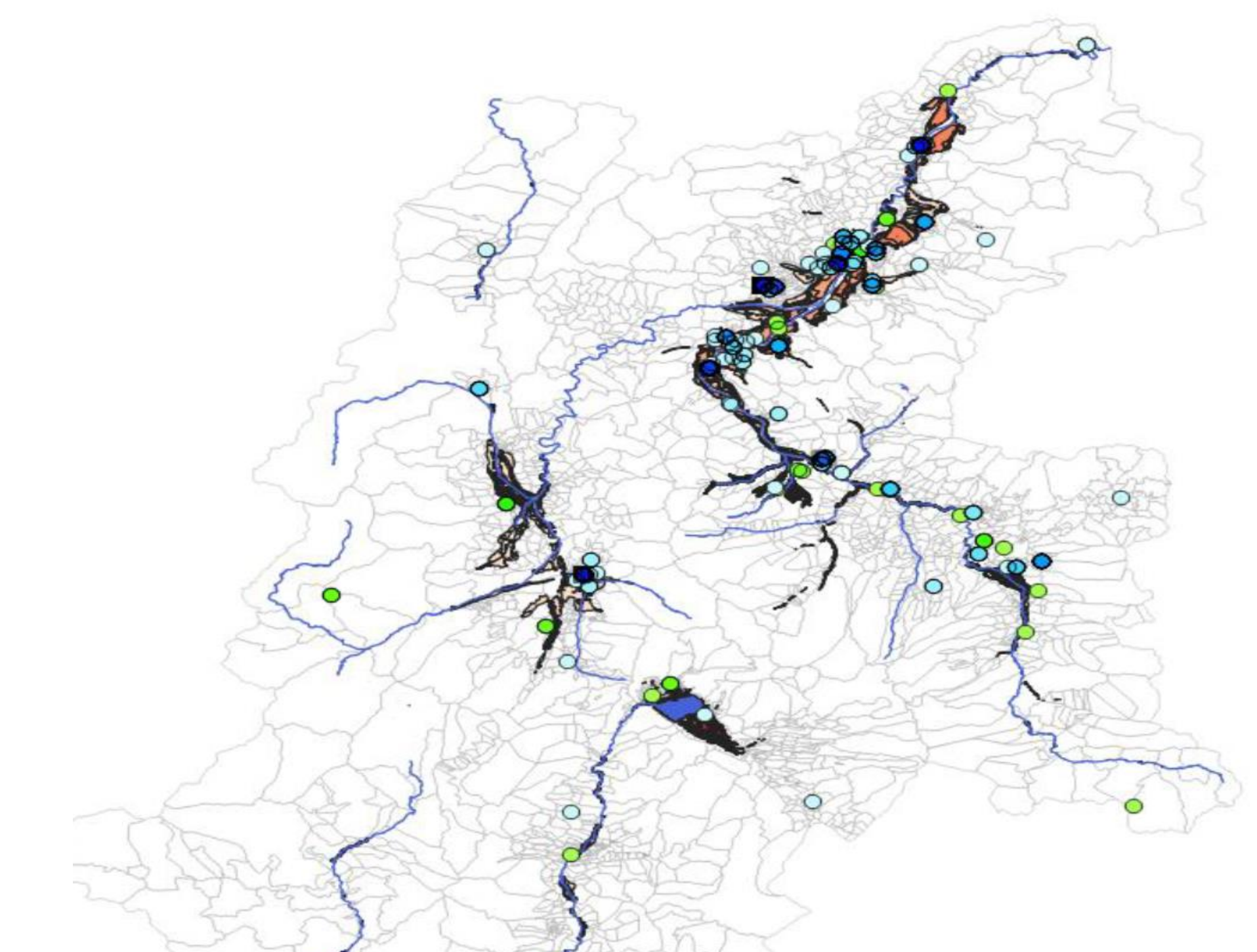
千葉県内での全域停電を把握

#### 北海道胆振東部地震の道内全域停電



マスコミ発表よりも2時間早く全域停電を把握

#### 令和元年東日本台風（台風19号）



長野県内の氾濫危険区域で投稿された、浸水や氾濫、救援要請等を伝える情報を抽出  
 (上記はハザードマップとの重ね合わせ)